



投票に
行こう

投票日

1月27日

岐阜県知事選挙

(期日前投票は、1月26日まで。市役所本庁舎、上石津・墨俣地域事務所にて)



明るい選挙推進運動
イメージキャラクター
めいすいくん

2面に続く



スタートと同時に駆けだす子どもたち(小学生の部)

～新春マラソン 3,200人が走り初め～

1月3日、粉雪舞う中心市街地で「城下町おおがき新春マラソン2013」が開かれ、北は宮城県・南は大分県から参加した約3,200人が、走り初めを楽しみました。

今年5回目の開催となるこのマラソンは、大垣市商店街振興組合連合会や大垣市陸上競技協会などで組織する実行委員会(田中良幸委員長)が主催。今回から、中心市街地の新春の活気や賑わいをさらに広げるため、奥の細道むすびの地記念館を巡るよう、コースが変更されました。

開会式の後、【中学生(3km)】、【小学生(3km)】、【一般・高校(4kmと8km)】、【ウォーキング・ジョギング(3km)】の5部門に分かれ、午前9時30分から大垣城ホール前を順次スタート。ランナーの皆さんは白い息をはきながら、大垣駅通り、

本町通りなどを回り、新大橋のゴールを目指しました。

ゲストランナーの千葉真子さんや大久保絵里さんをはじめ、大垣ミナモソフトボールクラブやFC岐阜の選手の皆さんも参加し大会を盛り上げ、沿道では大勢の市民の皆さんが、目の前を通過するランナーへ「ガンバレ!」と大きな声援を送っていました。

完走証・完歩証を受け取った参加者らは、商店街の皆さんによるうどんや豚汁などのおもてなしや、かみいしづ温泉の足湯で体を温めて、疲れを癒やしました。また、各部門の上位入賞者の皆さんには賞状と記念品が贈られました。

雪交じりの寒い1日でしたが、中心市街地は、心地よい汗を流した参加者らで、熱気にあふれ活気に満ちていました。



身も心も温まるおもてなし



小川市長から表彰を受ける入賞者

平成26年の春には真新しい園舎で、大勢の子どもたちに、のびのびと学び・遊んでほしいと思います。



平成26年開園の北幼保園 完成予想図

北幼保園は、園舎の老朽化が進む北保育園、かさぎ保育園、北幼稚園を統合し、室村町に新設します。県内初となる円形の園舎を採用し、鉄骨2階建て、延べ床面積約3500㎡、定員は乳児から5歳児までの300人を予定しています。円形の回遊性のある園舎では、子どもたちの動きが「わ」となり、異年齢児同士の交流も増し、ふれあいの「わ」が広がります。ここから、助け合いや繋がりの心が育ち、思いやりの「わ」が生まれます。また、園舎屋上に太陽光発電システムを設けるほか、全館をLED照明にし、環境にも配慮しています。

私は、就学前の子どもたちを親の就労状況により、幼稚園と保育園に分ける必要性はないと考えています。むしろ、多様な人間関係の中で子どもたちが育ちあう環境をつくるのが大切だと思いい、これまで赤坂・綾里幼稚園を皮切りに、青墓・日新・荒崎と幼稚園を進めてきました。平成26年春の開園を目指し、北幼稚園の園舎の建設工事も1月中旬から始まります。

大垣市は、平成16年に「幼保一体化運営特区」の認定を受けて以来、幼稚園・保育園の一体化を進めています。「幼稚園・保育園科学省、保育園は厚生労働省」といった縦割行政の垣根を取り除き、幼児教育・保育の機会を平等に提供するためです。



市長の
なごみやきん

「わ」を育む北幼保園1月着工
— 幼保一体化を推進 —

大垣市長 小川 敏